



那覇市ボランティア・市民活動センター情報



【発行】社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 TEL.098-857-7766 FAX.098-857-6052
〒901-0155 那覇市金城3-5-4 〈E-mail〉 info@nahasyakyo.org 〈URL〉 http://www.nahasyakyo.org

QRコードで
市社協情報を
ゲット!!



ボランティアセンターだより

安謝市営ふれデイ えにしがい 安謝縁会開所式



去る4月17日に、安謝市営住宅自治会(会長 宮城元昭)集会所で「ふれあい
デイサービス安謝縁会」の開所式があり
ました。安謝縁会は、毎週火曜日に住民
の皆さんが集まり、体操の映像を見なが
ら健康づくりや交流を行う活動で、住民
のボランティアの方々が会場やお茶の
準備を行う等、皆さんの温かな助け合い
で成り立ってきました。宮城自治会会長
も「この活動を通して、皆さんの絆がよ
り深まってくると嬉しい。」と笑顔で話されていました。

今回ふれあいデイサービスへ登録となることで、新たに那覇市社会福祉協議会から看護師やレク支援員等の職員が派遣され、より介護予防に効果のある取り組みになることが期待されます。那覇市社会福祉協議会は、今後もこのような活動を通じた地域の皆さんのつながりづくりを応援していきます。(那覇地区コーディネーター・保良)



JAおきなわ小緑支店より100個手作り味噌を那覇市社協へ寄贈



「おかげさまで、地域の皆様に支えられ、感謝祭も盛況のうちに終わることができました。感謝の気持ちとして、手作り味噌を100個、寄附させていただきます。」と、JAおきなわ小緑赤嶺支店長と女性部の皆さんが来所。新垣女性部長は「地域福祉活動に役立ててほしい」と今後の繋がりにも期待を寄せてくれました。早速、那覇市内の子どもの居場所と、ふれあいきいきサロンの団体へ配布させていただきました。(子どもの支援団体等へのサポート事業・城間)



社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会

平成30年度
(上期)

インフォメーション

登録サポーター
募集中

「りゅうぎんユイマール助成会」 助成先募集

1. 応募期間 平成30年5月1日(火)～6月30日(土)
※当日消印 有効

2. 助成対象 沖縄県内において県民のための社会福祉活動、環境保全活動を実施している個人・NPO法人ならびに諸団体(任意団体等)といたします。※営利目的の団体は対象外

3. 助成対象事業 (1)沖縄県内において県民のための社会福祉活動、環境保全活動に関する独創的、先駆的な事業・企画(日常の人件費や交通費は対象外)
(2)沖縄県内において県民のための社会福祉活動、環境保全活動を実施している団体等の施設・機器の整備等

4. 応募資格 助成対象のうち、公的助成を受けていないか、または公的助成の少ない団体等といたします。

5. 助成金額 助成金額は、1団体原則20万円を限度とし、総額250万円程度を予定しています。

お問
合せ

株式会社琉球銀行 総合企画部 地域貢献室内
りゅうぎんユイマール助成会 事務局(担当:宮城)
TEL 098-860-3787



第4回 生活支援サポーター 養成講座

生活支援サポーターはどんなことをするの?

高齢者の日常生活のなかで“ちょっとした困りごと”のお手伝いを、週1回程度行う身近な地域のボランティア活動です。

活動内容 30分程度で行える生活支援(活動手当300円/1回)
・ゴミ出し ・簡単な掃除 ・買い物代行 など

【日時】平成30年6月15日(金)9:30～12:00 ※受付9:15～

【実施場所】沖縄県三重城合同庁舎(ている内)自治研修所側8階
特別研究室(那覇市西3丁目11-1)

【対象】18歳以上で、那覇市内で活動が可能な方。

【定員】30名程度 【受講料】無料

【申込期間】平成30年5月7日(月)～平成30年6月14日(木)17時迄

▼下記の資格をお持ちの方は事前登録可能です!!
詳しくは担当者までご連絡ください。

★介護福祉士 ★看護師
★介護職員初任者研修従事者(旧ヘルパー2級)

お問合せ
受講申し込み先

那覇市社会福祉協議会 地域福祉課(担当 神田・金城)
TEL:857-7766 FAX:857-6052
メール:sasaeai@nahasyakyo.org

ボランティア募集

☎098-857-7766

ボランティア活動希望の方は、ボランティアセンターへの登録と活動保険加入をお願いしております。



ボランティア担当:高橋

情報の見方

①活動内容 ②日時 ③場所 ④駐車場 ⑤人数 ⑥条件 ⑦備考

1.障がい者サポートボランティア募集

年間を通して県内外の方から障がい者サポートについて相談をいただきます。サポートレベルは、ちょっとした付添いから介助に近いサポートまで希望内容は様々です。昨年度は、国際通りのお土産品店巡りを高校生4名がサポート活動しました。障がいについてもっと知りたい、介助経験がある、などご興味ある方、お待ちしております!

- ①障がい者サポート(主に視覚、下肢障がい者)
- ②都度調整 ③県全域 ⑤10名
- ⑦・16歳以上の方を募集 ・活動中にかかる経費は依頼者負担

ボランティアBOX 取組団体(4月受付団体)

- 1 那覇西民踊福祉サークル
- 2 那覇市母子保健推進委員
- 3 居宅介護支援事業所 ライラック
- 4 沖縄県立 看護大学
- 5 NPO法人 おきなわ環境クラブ
- 6 石川外科クリニック
- 7 株式会社 サン・エージェンシー
- 8 真和志第一民生委員児童委員
- 9 社会福祉法人 沖縄県視覚障害者福祉協会
- 10 おきなわ法律事務所
- 11 天久台病院 相談室
- 12 イオン那覇店
- 13 株式会社 国際重機



平成30年3月21日～平成30年4月17日(順不同)

お気軽に
お問い合わせ
ください。

那覇市ボランティア・市民活動センター

☎098-857-7766

〒901-0155 那覇市金城3丁目5番地の4
(那覇市総合福祉センター内)

E-mail 7766volu@nahasyakyo.org

FAX.098-857-6052



熊本地震から2年・・・

4月16日。「平成28年熊本地震」の本震から2年が経ちました。あの日、熊本県から大分県の広範囲にわたり大きな被害がでました。一連の地震で熊本県や大分県の被災地では、ご自宅が全壊または半壊となった被災者の方々の、応急仮設住宅やみなし仮設住宅等における生活が落ち着き始めているようです。

発災直後からの生活復旧支援期には、被災した方々に対して、全国から駆けつけた多くのボランティアによる、被災者宅での家屋内外の後片付け、避難所での炊き出しや運営等の支援がありました。

現在は、大勢のボランティアによる生活復旧支援活動は次第に減少傾向にあり、求められるボランティア活動も生活復興支援の活動へと変化しているようです。

東日本大震災や熊本地震、九州北部豪雨災害等の被災された方々の一日も早い復興をお祈りするとともに、これからも私たちができることを考えていきたいと思います。(企画総務課・港川)

子ども支援へのお礼

「ひとこと、お礼を申し上げます」

那覇市社会福祉協議会へは日頃から、市民の皆様の善意が寄せられております。中には、子ども達のすこやかな生活を保てるようにと、郵送によってお気持ちを寄せて下さる県外の方もいらっしゃいます。

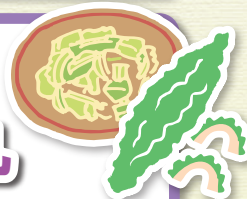
私達は、お預かりした物資等を、必要としている世帯や、外部からの助成を受けずに頑張っている団体に対して橋渡しの役目も務めております。

皆様から寄せられる支援や応援のお気持ち、いつも心強く感じております。ありがとうございます！

これからも責任をもって、お届けいたします。(地区コーディネーター・上原)



平成29年度 那覇市社協 フードドライブの報告とお礼



▲カープス事業部 小緑店

日頃より那覇市社会福祉協議会で行っております「那覇市社協フードドライブ」活動へのご支援を頂きまして、感謝申し上げます。

市民の皆様より、昨年度に頂きました食料品や調味料等につきましては、大切に

必要とする世帯や団体等にお渡しする事が出来ました。

支援のご報告につきましては、下記の表にて報告させて頂きます。(瑞慶覧)

平成29年度 寄贈(合計)

174件

2,931品

主な寄贈活動	寄贈先件数	食料品等数
那覇市社協第3回フードドライブ	66件	1,300品
那覇市社協第4回フードドライブ	30件	117品
第7回うるく童まつり	25件	287品
その他の寄贈分	53件	1,227品

平成29年度 提供(合計) 223件 3,494品

相談件数	米	缶詰	麺類	レトルト	その他	合計
223件	129	988	877	537	963	3,494品

地区担当コーディネーター通信

地域をつなぐ

地区担当
コーディネーター
とは？

地域における支援を必要とする人々の生活圏において、制度の狭間にある要援護者等の見守り・発見、相談から必要なサービスへのつなぎなど等、セーフティネット機能の体制づくり、福祉関係機関や地域住民参画への福祉のまちづくりコーディネートを行います。

NO.62



繁多川市営住宅で防災訓練実施!

繁多川市営住宅自治会・那覇市包括支援センター繁多川の両主催のもと3月25日に“団地で防災について考える”イベントが行われました。当日は約40名の団地にお住まいの方が参加し、中には団地外から来られた方もいました。那覇市社会福祉協議会からは防災講話を行いました。「防災は日頃から考えることが大切。公助には限界がある為、自分の命は自分で守る意識を持つこと・隣近所同士で助け合う関係づくりをすること」について実際の災害事例や地域の取り組みを織り交ぜながら講話。また実際に被災したことを想定して、那覇市市民防災室から提供を受けた災害食(アルファ米)を、火を使わずお湯だけを使用して住民同士で作製、実際に食べてみる試食会も行いました。当日は風が強く肌寒い中での開催になりましたが、参加者同士肩を寄せ合いながら「災害非常食って美味しいんだね♪」と楽しみながら学びを深めました。今回の防災訓練をきっかけにして、団地住民同士の繋がりがより深まるように那覇市社会福祉協議会も一緒に考えていきたいと思っています。(真和志地区コーディネーター・垣花)

大名市営住宅自治会「地域見守り隊ひとこえ」の取り組み

「見守りは皆でやるから楽しいよね!」そんな嬉しく温かい言葉が聞こえてくる大名市営住宅では、月1回第3日曜日に集まり住民同士でペアを組み、見守りが必要な世帯を訪ねて「ひとこえ」かける見守り活動を行っています。活動後にはお茶やお菓子を食べながら、ゆんたくに花を咲かせる「集いの場」となり、「見守られる人」だけでなく「見守る人」としても、外出の機会や住民同士の絆を深めるきっかけとなっているようです。



見守り活動も4年目を迎え、次のステップとしてゴミ出しや掃除など住民の困りごとを解決するボランティア活動に取り組み始めようとしています。「この地域に住んでよかった」という声が聞こえてくるような地域づくりを、那覇市社協も一緒に取り組んでいきたいと思っています。(首里地区コーディネーター・仲程)

